

美術科学習指導案

指導者 永山 良子

日時 平成29年11月18日(土) 第2校時(11:05~11:55)
年組 中学校第2学年1組 計40名(男子19名, 女子21名)
場所 中学校美術室
題材 見える化! 私の中の〇〇の世界(表現)

題材について

本題材は、自分の心の中にある世界を主題として発想し、その主題を豊かに表現するための材料や方法を追求し、自分らしく造形的に表していくものである。表現活動の基盤となる「発想・構想(思考)」の力を育むことをねらって設定した。自己の内面を見つめ、ものごとの考え方・捉え方や価値観を認識することは、自己を確立していく時期にある中学生にとって意義深い。また、主題をより豊かに表す方法を追求することは、夢や目標のある心豊かな生活を自ら創造する態度の育成につながるものと考えられる。

中学2年生ともなると、自他を深く見つめたり、客観的に捉えたりできるようになってくる。自分をよりよくアピールしたい気持ちがありながら、他者の反応を気にして素直に自己表出できにくくなることもある。本学級の生徒は、美術の活動に概ね意欲的に取り組んでいる。鑑賞活動では形や色などから作者の思いを読み取り、作者が意図をもって造形要素を組み合わせていることを学んできた。また表現活動では表現技法(モダンテクニック)を体験し、「描画(ドローイング, ペインティング)」以外の多様な表し方があることも学んできた。写実表現への苦手意識はあるが、創造的な作品づくりへの憧れは強い。

指導に当たっては、生徒が豊かに発想し続けるための手立てを学習の全過程で取り入れていくようにする。題材の導入段階では、様々な材料技法で表現されたアート作品の鑑賞をおこない、多様な自己表現に関心と意欲をもつことができるようにする。主題の発想段階では「偏愛マップ(自分の好きなものを書き出したもの)」を用いることで、自分の内面を素直に見つめ、自分の好きな世界を主題として表出できるようにしたい。構想段階では作例を随時鑑賞できるよう教室内に掲示し、技法を試行できる場をつくることで、多様な表現の中から自分の意図に合った方法を主体的に探れるようにする。また、構想から制作の過程において作品交流・批評の場面を適宜設定することで、他者の意見を参考に視点を広げて表現を追求できるようにしたい。

指導目標

1. 自らの心の世界を見つめて主題を生み出し、豊かに表現の構想を練ることができるようにする。
2. 自分の表現意図に合う方法などを工夫して創造的に表現できるようにする。

指導計画(全8時間)

1. 作品鑑賞 …1時間
2. 発想(テーマ設定・追求) …1時間
3. 構想(モチーフ, 構図, 技法, 手順等) …2時間(本時は第2時)
4. 作品制作 …3時間
5. 相互鑑賞 …1時間

本時の目標

主題を豊かに表すための形や色, 材料などの組合せや表現技法等について構想を深めることができる。

学びを豊かにするための手立て

アイデアスケッチや試作をさせることによって、心の中のイメージを徐々に視覚化させる。視覚化されたイメージが自分・他者・材料等との対話を促進し、思考を深め、新たな発想を喚起する。また、生徒間でのアイデア交流の場を設定することで、自らの表現を新たな視点で見つめ直し、さらに構想を深めることができるようにする。

学習の展開

学習活動と内容	指導上の留意点（◆評価）
1. 導入（3分） <input type="checkbox"/> 前時までの学習を振り返り、表現の主題（テーマ）を再認識する。	○主題とそれを表すモチーフや形、色、質感などについて、前時までのワークシートで見直させる。
2. 展開（42分） <input type="checkbox"/> 本時の目標を確認する。	
テーマを豊かに表す方法を考え、作品の全体像をイメージする	
<input type="checkbox"/> 主題を豊かに表す方法を様々な視点から構想し、アイデアスケッチ・メモにする。 <ul style="list-style-type: none">・モチーフ、形、色・構図、構成・質感・材料・技法	○表現の新奇さではなく、いかに主題に迫る表現になっているかに注意して構想するよう促す。 ○様々な表現方法の例を掲示し、構想のヒントにさせる。 ○必要に応じて技法の試作に取り組めるように、材料等を準備しておく。 ○「主題をどのように表そうとしているのか」について様々な視点から言葉がけし、イメージを具体化させる。
<input type="checkbox"/> アイデアスケッチをもとに表現について交流し、相互に批評・助言をする。 「○○の世界の～な感じを出すために、…という表現をする」	○「主題を表すためにどのような表現をするか」が相手に伝わるような説明をするよう促す。 ○主題と表現の関係に着目させ、気づきやアイデアを付箋紙に書いて交流させる。
<input type="checkbox"/> スケッチ交流によって得た新たなアイデアを参考に、テーマを豊かに表す方法について再考する。	◆主題を豊かに表すための形や色、材料などの組合せや表現技法等について構想を深めている。 (ワークシート) 【発想・構想の能力】
3. まとめ（5分） <input type="checkbox"/> 制作手順を計画し、次時の見通しをもつ。	